

各世代が笑顔あふれる まちづくり実現へ

一般会計予算	90億3,500万円
特別会計予算	58億8,449万円
企業会計予算	8億3,933万円

予算=賛成多数で可決

令和4年度の重点施策

高齢化社会の交通手段確保、松伏田島産業団地での就労の確保、子育て環境の充実、SDGs 持続可能な社会づくりとして貧困世帯の解消、ごみの減量や地球温暖化防止、町の賑わい・魅力の創出・活性化拠点となる道の駅の整備等これらの施策を積極的に取り組んでいく。

施策	主な経費	予算額
子育て支援	○こども医療費給付費 ○学童クラブ指定管理費 ○杉の子学童クラブトイレ改修工事 ○フードパントリー事業補助金	18億3,722万円
健康・福祉・ 社会保障	○障がい児(者)生活サポート事業補助金 ○高齢者タクシー等経費 ○買い物支援事業補助金 ○個別避難計画作成業務委託料	20億7,942万円
人権・男女共同 地域コミュニティ	○公民館設備改修工事設計業務委託料 ○偉人マンガ製作支援業務委託料	2億1,337万円
産業振興	○工事関係測量設計委託料（赤岩地区内の水路工事） ○農業用施設安全管理活動補助金 ○町商工会助成金	8,926万円
生活基盤整備	○町道8号線舗装修繕工事費 ○公園施設長寿命化実施設計業務委託料 ○地下鉄8号線建設促進・誘致期成同盟会負担金	5億5,006万円
生活環境	○リサイクルセンター整備工事費 ○リサイクルセンター仮設施設等撤去工事費 ○個別避難計画作成業務委託料	11億9,648万円
行財政運営	○松伏町役場本庁舎外壁改修工事費 ○保健センター基本設計業務委託料 ○第6次総合振興計画策定業務委託料	13億3,959万円

1 総合的なごみ処理体制の充実

問 リサイクルセンター整備費について、施設の概要は。

答 整備の発案から、20年余りの時間がかかった。このたび、新年早々に先行オープンという運びとなった。施設の概要では、敷地面積約3,900平方メートル、工場とストックヤード棟からなる鉄骨の二階建て。床面積は約1,400平方メートル。また、総事業費は、令和3年度までの分として、見込みで、約8億円を用意している。新年度の工事は、現在の仮設処理場を撤去し、その後、駐車場の整備、外構の工事を実施し、フルオープンに向け、仕上げ工事を実施したい。

2 健康増進と利便性向上

問 保健センター基本設計業務委託料347万6,000円の内容は、建て替えを前提とし基本設計の委託をするのか、あるいは、建て替えだけではなく、修繕という形も想定して委託するのか。

答 保健センターとして必要とされる機能、役割等を検討し、相談室や健診室などの必要部屋数など、まずは、大きさなどの設計条件を整備して、必要な建物の面積、または建物の規模を導き出し、建設工事に伴う基本設計を策定していきたいと考えている。建て替えが望ましいのか、または修繕が可能なのか、費用対効果など、長期的な展望に立って様々な検討をしていく。

3 災害時の備え

問 備品購入費、災害対策用備蓄資機材の内容は。

答 災害時に備えて必要となる資機材を備蓄するための経費。令和4年度は、災害時避難所の開設に必要な発電機の購入、現在建設中の防災倉庫で使用する資機材を購入するもの。特に防災倉庫で使用する資機材としては、1階防災倉庫において資機材などを整理保管するために使用する際のスチール棚、2階の災害対策本部で使用するテーブル、また椅子などの購入を予定している。

討論

賛成

松伏町の高齢化対策、子育て環境、貧困対策、ごみ対策など、松伏の活性化等の施策を掲げている。最少の予算で最大の効果を果たすよう期待する。コロナ関連事業では、迅速かつ着実に業務を遂行することに強く期待する。人口減少を食い止め、人口増、そして定住化の推進のためにも、必要な措置を講じることを望む。

厳しい財政環境にありながら、予算が編成されたことに、敬意を表したい。持続可能かつSDGsの17の目標を意識した社会づくり、安心安全なまちづくりに期待できるもの。課題解決に、確固たる施策で対応していくまちづくりが求められている。新型コロナに打ち勝つべく、町の姿勢を強く打ち出している予算である。

歳入確保に努めたことを評価する。インフラ整備と企業誘致が行われ、財源を確保した上での積極的な町民サービスの向上を目指したいとする考えを評価する。令和4年度の一般会計予算が、松伏町の新たなスタートとなることを念願して、適切に、公平に、速やかに予算が執行され、町民の福祉が向上することを期待する。

今後も引き続き、財政運営の根幹となる自主財源の確保に取り組み、企業誘致を着実に進め、土地利用をしっかりと検討し、新たな歳入確保に力を入れていただきたく思う。自主財源の乏しい松伏町にとって、ニーズに応え、変化し続けるサービスマネジメント、行財政マネジメントの視点が欠かせないものとする。

反対

町が直面している課題について、十分予算措置されていない部分が目立つ。歳入の確保が大きな課題だ。高齢化が進む中で、老人福祉職員の配置は増えていない。高齢者のための交通問題は不十分な状況で、きちんとした調査や計画をつくり、政策を練り上げていく必要がある。子育て支援の充実は、決して十分ではない。広域行政の負担金は、いろいろな問題がある。防災、排水対策が必要。